

「たずねびと」 定期テスト対策練習問題②

年	組	番	名前
---	---	---	----

問1 (第33段落・6行目) 「この年の終わりまでには約十四万人の人がなくなりました」とありますが、「この年」とはどのような年のことですか。かんたんに説明しましょう。

問2 「この年の終わりまでには約十四万人の人がなくなりました」とありますが、約十四万人の人は、具体的にどのような人ですか。教科書の文からそれぞれ20文字以内でそのままぬき出してすべて答えましょう。



問3 (第35段落・4行目) 「うちのめされるような気持ち」とありますが、何に対してこのような気持ちになっているのですか。「…こと」と続くように、教科書の文からそのままぬき出して答えましょう。

問4 「わたし」の兄は、(第35段落・7行目) 「声をはげまして言った」とありますが、この時の兄の気持ちとしてもっとも正しいものを次の中から選び○でかこみましょう。

ア：ずっと探していた個人を検索できる記念館があると分かり、喜んでいる

イ：原爆のひさんさに、沈んでいた気持ちをふるいたたせようとしている

ウ：原爆のおそろしさに、すっかり怖くなってしまった気持ちを隠そうとしている

エ：パンフレットをよく見たことで記念館を発見することができ、誇らしく思っている

問5 「刻々と」の意味を、次の中から選び○でかこみましょう。

ア：しだいに

イ：どンドンと

ウ：ひっきりなしに



問6 「つかのま」の意味を、次の中から選び○でかこみましょう。

ア：しばらくの間

イ：ながながと

ウ：わずかの間

問7 「とぎれなく」の意味を、次の中から選び○でかこみましょう。

ア：たえまなく

イ：ふいに

ウ：かなしげに

問8 (第41段落・15行目) 「この人たちには、この人たちのことを覚えているだれかがいたのだ。」とありますが、「この人たち」とはどんな人たちのことですか。教科書の文の中にある言葉を使って、かんたんに説明しましょう。



問9 「しどろもどろ」の使い方として正しいものを選び○でかこみましょう。

ア：風邪をひいて喉を痛めたので、しどろもどろにしか話せなかった。

イ：兄はいつも威張って、私にしどろもどろに命令する。

ウ：算数の先生に突然あてられて、しどろもどろになった。

問10 「面食らった」の使い方として正しいものを選び○でかこみましょう。

ア：私が風邪をひいたので、心配した母は面食らった顔になった。

イ：私が言うことを聞かなかったので、怒った兄は面食らった顔になった。

ウ：難しい問題を私が答えたので、算数の先生は面食らった顔になった。

問11 (第46段落・12行目)「聞いていたとおり」とありますが、どんな内容ですか。教科書の言葉を使って、「…ということ」とつづくように答えましょう。



問12 (第49段落・11行目) 「わたし、クスノキアヤって
いうんですけど。」とありますが、なぜここでは「楠木綾」
と書かれていないのですか。かんたんに説明しましょう。

問13 (第50段落・13行目) 「おばあさんの顔がぱっと
かがやいた」とありますが、その理由としてもっとも正しい
ものを次の中から選び○でかこみましょう。

ア：ポスターの女の子とたまたま同じ名前だなんて、
めずらしいと思ったから

イ：ポスターの女の子のことを知っていて、懐かしく思った
から

ウ：戦後の子供である「わたし」が、ポスターの女の子の
ことを気にかけてくれて嬉しかったから

エ：ポスターの女の子のおむかえに来てくれたのではと
思ったから

問14 (第52段落・2行目) 「おばあさんをごっかりさせて
しまった」とありますが、「わたし」または「お兄ちゃん」
のどんな言葉がおばあさんをごっかりさせてしまったと
考えているのですか。教科書の文からそのままぬき出して
答えましょう。



問15 (第55段落14行目) 「そんなことは考えたこともなかったからだ。」とありますが、「そんなこと」とはどんなことですか。教科書の文で使われている言葉を使って「…ということ」と続くように答えましょう。

問16 「名前でしかない人々、名前でさえない人々、…数でさえない人々」とありますが、それぞれ、

- ①名前でしかない人々
- ②名前でさえない人々
- ③数でさえない人々

とはどのような人々なのか、教科書の文に使われている言葉を使って、具体的に答えましょう。

①

②

③



問17 (第56段落・2行目) 「どうか、この子のことをアヤちゃんのことを、ずっとわすれんでおってね。」とおばあさんは「わたし」に言いましたが、おばあさんが「わたし」にわすれてほしくない、と思っていることを「…こと」とつづくように教科書の文からそのままぬき出して2つ答えましょう。

問18 (第62段落・14行目) 「わたしたちがわすれないでいたら」とありますが、「わたしたち」とは誰のことをさしているか、もっとも正しいものを次の中から選び○でかこみましょう。

ア：「わたし」と「お兄ちゃん」、原爆で亡くなってしまった約十四万人の人々

イ：「わたし」と「お兄ちゃん」

ウ：「わたし」と「お兄ちゃん」をふくむ現代に生きる世界中の人々

エ：「わたし」と「お兄ちゃん」、そして被爆者である「おばあさん」

問19 (第59段落・7行目) 「ポスターの名前が、ただの名前でしかなかったように。」とありますが、これと対照的(違いがはっきりしているもの)に書かれている一文を教科書の文からぬき出して、はじめの5字を答えましょう。



「たずねびと」定期テスト対策練習問題

(解答)

問1 (例) 日本に原爆が落とされた年
(他にも、広島に原爆が落とされた年、日本に原子爆弾が落とされた年など)

問2 被爆してすぐになくなった人
なんとか生きのびた人
残留放射線を浴びた人
核物質をふくんだ黒い雨に打たれた人
※順番が違っていてもOK

【解説】「被爆まもない市に入って残留放射線を浴びた人」としてしまうと、21文字となってしまうので、「残留放射線を浴びた人」だけで答えよう。

問3 たくさんの人が、たった一発の爆弾のせいで、この世からいなくなってしまった(こと)



問4 イ

【解説】資料館で、原爆によってたくさんの人が亡くなってしまったという、悲しい現実をまのあたりにして、沈んでしまった気持ちを、なんとかふるいたたせて、最後までしっかり見て帰らなくては、と思っている。

問5 ア

【解説】「刻々と」には「刻（きざ）む」という漢字が使われているように、こまかく刻むように、すこしずつ進むイメージと考えよう。

問6 ウ

【解説】「つかのま」の「つか」は、昔の日本で使われていた長さの単位で、指4本分。それしかないから、「わずかの間」ということと考えよう。

問7 ア

【解説】「たえまなく」は、「絶（た）える間もない」ということ。つまり、とぎれることなく、ずっと続くということ。



問 8 (例) モニターにうつし出された人たち
(他にも、モニターにうつし出されたたくさんの人たち、
など。)

【解説】「原爆でなくなった人たち」だと、名前しか分からない人もふくまれてしまうので、間違いになることがある。

問 9 ウ

【解説】「しどろもどろ」とは、話し方が乱れてしまう
という意味。

ウの、算数の先生に突然あてられて、用意ができて
いなかったから話し方が乱れてしまった、というのが使い方
としては正しい。

アは「声が出ないようす」

イは「威張っているようす」なので、合わない。

問 10 ウ

【解説】「面食らった」とは、おどろいたという意味。

ウの、先生は難しい問題を「私」が答えたのでおどろ
いた、というのが使い方として正しい。

アは「心配しているようす」

イは「怒っているようす」なので、合わない。

問 11 (例) 被爆者のおばあさんが、たいていこの供養塔の
近くにいる (ということ)



- 問 | 2 (例) ポスターに載っている女の子の名前の漢字が「綾」かどうか分からないから
【解説】ここでは、「わたし」はおばあさんに「わたしと名前が同じ女の子」と伝えている。同じ名前とは言っても、「綾」という漢字まで同じかはまだ分からない。よって、ここでは「少なくとも名前の読み方が同じ」という意味で「クスノキアヤ」とカタカナで書いている。
- 問 | 3 エ
- 問 | 4 遺族とか、知り合いとかじゃない(んです。)
- 問 | 5 (例) 楠木アヤちゃんの夢やら希望やらが、わたしの夢や希望にもなって、かなうとよい(ということ)
【解説】「わたし」が考えたこともなかったことなので、おばあさんの言葉では「あなた」となっている部分が、「わたし」となることに注意しよう。
- 問 | 6 ①名前だけ分かっている八百人余りの人々
②身元の分からない、およそ七万人の人々
③あとかたもなく焼かれたり、川を流されていってしまった人々



- 問 | 7 楠木アヤちゃんが確かにこの世にいて、あの日までここで泣いたり笑ったりしていた（こと）
ここでどんなにおそろしいことがあったかという（こと）

問 | 8 ウ

【解説】「ずっとわすれないでいたら、世界中のだれも、二度と同じような目にあわないですむのかもしれない。」とあることから、「世界中の人々が原爆のおそろしさをわすれなければ、もう二度と原爆を使うようなことはしないのではないか」と考えていることがわかる。そのため、ここでの「わたしたち」とは、今、この地球上で生きている世界中の人々のことをさしているということがわかる。



問19 **そして、夢**

【解説】ぬき出す一文は、「そして、夢で見失った名前にも、いくつもいくつものおもかげが重なって、わたしの心にうかび上がってきた。」という一文で、はじめの5文字は「そして、夢」になる。

「ポスターの名前」とは、名前しか分からない人々のことで、物語の前半、「わたし」の夢に出てきたけれどたちまち消えてしまった名前のこと。

けれど、原爆のおそろしさや、たくさんの人が原爆で亡くなってしまったことを知った「わたし」は、その「夢で見失った名前」にも、おもかげが重なって、心にうかび上がるようになっている。

「ただの名前」と、「おもかげが重なって、心にうかび上がる」というのが対照的。

※当テストでは、著作権侵害を避けるために本文の掲載を控えています。

問題・解答の内容が本文のどこにあるのかを示すために、段落と教科書に掲載されているページ上の行数を表記しています。

